

## 第49回戦跡ハイキング 大阪市大正区～港区

渡し船に乗り、なみはや大橋を徒歩で越え

### 大阪港の戦争遺跡をたずねる

今回の戦跡ハイキングは、2018年秋に企画した大阪市大正区での「渡し船に乗って沖繩のこと、戦争のことに思いを寄せる旅」に続く、渡し船を利用した大阪市大正区・港区の旅 part II です。今回の見どころはなみはや大橋と築港赤レンガ倉庫(旧住友倉庫)でした。なみはや大橋は、尻無川に架かる大阪市港区と大正区を結ぶ全長1,740mの橋で徒歩で歩いて渡りました。橋の下に幅100mの航路を通すため中央部の高さは45mもあり、橋上からの大正区・港区への眺望は絶景、この日一番のビューポイントでした。なみはや大橋の港区側に築港赤レンガ倉庫がありました。赤レンガ倉庫は1923年に住友倉庫によって物流センターとして建造され、第二次世界大戦の頃まで国際港湾の核心としても繁栄していたようです。赤レンガ倉庫は一時解体の話もありましたが、2015年には、耐震補強工事を行い新生赤レンガ倉庫群として見事に復活しました。今回も元府立高校教諭の森田敏彦氏に案内をお願いしました。森田氏の分かりやすい説明も好評でした。(大西清見)

日 程：2020年3月7日(土)

コース：JR大正駅ーバス停「大正橋」ー「新千歳」ー千歳渡船場ー鶴町4丁目ーなみはや大橋まで800m超歩くーなみはや大橋を歩いて渡る(20分)ー日和橋を経て赤レンガの旧住友倉庫ー軍馬碑ー昼食(ビーハイブ又は築港麺工房)ー中央棧橋、人魚像、天保山公園(獣魂碑、中国人強制連行労働者碑)ー天保山渡船に乗船ーJR桜島駅

参加者：吹田2 なにわこぶし2 泉州2 八尾1 きたろう1 こもればし1 つりばし1 兵庫県連3 元ニコニコ2 計15名



なみはや大橋から大正区を眺望



築港の中央突堤にて集合写真

## 《参加者の感想》

### 吉田実（なにわこぶしの会）

元高校教師の森田さんに御懇切にガイド頂き、戦前からの大正区・港区に残る軍事や産業などに関わる史跡を見て歩いたが、何といてもハイライトは「なみはや大橋」からの絶景と、ノスタルジー漂う「赤レンガ倉庫」、そして今も市民の足として川面を走る「渡船」であった。北大阪に住む私にとっては、大阪港や大正はなじみが薄く、知らない町を巡り歩き、ミナト大阪の築港情緒を満喫できたのは新鮮で楽しいひとときであった。「戦跡」については頂いた資料で復習するでしょう。

### 下窪義文（つりばし）

戦争の事はあまり興味無かったのですが、前回のハイクで大阪市東住吉区田辺付近に原子模擬爆弾が投下されたことや全国各地にも投下されていることを初めて知ることができました。今回大正区と港区の街歩きでは戦時中の面影はありませんが、軍事基地で軍用列車が引かれて築港栈橋からたくさんの兵隊さんが南洋諸島に出兵別れを惜しんだ70年前の事を知ることができました。大正区は仕事の関係で訪れていましたが尻無川と木津川に挟まれていることや湿地帯での新田作りや沖縄の移住者が多く、明治30年から始まった築港計画で埋め立てられて大正8年に鶴町が誕生したことなど知ることができました。千歳と天保山栈橋にも乗り港区、此花区を歩いて楽しかったです。築港は貿易港として栄え、レトロな建物が残っているのでまた訪れてみたいところです。多くの事を知り学ぶことができ、有意義な1日でした。有難うございました。

### 笹部公孝（兵庫・神戸みなと労山）

今回のハイクは色々と思いを深め歩くことができました。今回のハイクで特に私が気に入ったのは交通手段としての渡し船です。府内に8か所あるとのこと。しかも道路の延長なので、無料であります。近代技術力の発展で方々に橋が架かり、水運としての渡しは国内的にも消滅してきていますが、水の都大阪で脈々と受け継がれています。何とも素晴らしいことです。私もはじめて利用させてもらいました。また、一般の市中ハイクでは、周りの建物が邪魔されて自分のいる場所がつかめないこともあります。今回のコースで「なみはや大橋」を歩いて渡った時、空に舞い上がった雰囲気、やっとなみはや大橋の全容が把握でき感動しました。いろいろと史跡を丁寧に説明していただきましたが、散会後のほろ酔いでほとんど泡となりました。申し訳ありません。また、機会がありましたら参加させていただきたいと思います。ありがとうございました。

## 原発訴訟傍聴の報告

## 大阪府連・顧問 佐々木雅博

今年も3月11日が過ぎて行きました。

2月20日（木）関西原発訴訟第25期日が大阪地裁で開かれ傍聴に行きました。

労山関係者は原告団の管野昭雄（ピトンの会・浪江町から避難）さんを含めて5人でした。原告側が準備書面68「低線量被爆について」をパワーポイントで説明したのに対し被告、国・東京電力の発言は今回ありませんでした。

閉廷後、報告集会が賑やかに開かれました。関西訴訟団の他に兵庫・京都と九州訴訟団が参加して、現在進行形で進んでいた仙台訴訟団とスカイプによるエールの交換が行われ闘う決意を交流しました。

関西訴訟の判決が何年先に出るか？更に控訴審がある事を考えるとどっと疲れてくる。でも負けられない！次回は5月14日（木）です。午後1時、大阪地裁前に集まりましょう。

